

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

サンフウ精密株式会社

山形市にあるサンフウ精密株式会社の会田和俊さん取材しました！

会田さんは、帝京大学理工学部バイオサイエンス学科を卒業後、2021年に入社しました。

現在は、技術部でCADオペレーターとして勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在どんなお仕事をしているのか教えてください。

会田さん（以下：会田）：今は、CAD/CAM※の研修を受けているところです。ある製品を加工するよう機械に指示するには、いろいろな設定が必要になります。その製品のデータをパソコンに入力して加工のシミュレーションを行い、さらにそのシミュレーションデータをプログラムで機械が受け取れる形に変換するというものです。



私は今、プログラムを機械に入力し、物を加工するという一連の流れができるようにマンツーマンで指導を受けているところです。最終的にはデータからプログラムをつくり、自分で機械を動かしてみて異常がないか確認するところまでできたらと思っています。

製造本部本部長 奥山さん（以下：奥山）：一般的に研修といえば、新入社員がみな同じことをするものですが、うちはそれぞれ伸ばしてもらいたい分野に集中して指導するという教育体制をとっています。

※CAD/CAM：コンピュータを使って製品の設計・製造を行うためのシステム

——研修を受けていて心掛けていることはありますか？



会田：安全第一です！下手をすると加工する素材が飛んできてケガをするので。機械で実際に加工する前に、加工したい物をセットせずに刃物だけを動かして確認するんですが、それをしても実際に物を削るときはもう心臓が飛び出そうなくらい緊張しますね（笑）。

奥山：例えば旋盤という機械は、加工する素材を回転させ、それに刃物を当てて削るというのですが、その回転数は1万5千回転とか2万回転する時もあり、使い方を間違えると非常に危ない機械ですので、しっかり確認をして「安全第一」で作業することは非常に大事です。機械自体には万が一、素材が飛んできて大丈夫なように、かなり厚い防壁や扉はありますが、それでもやっぱり安全第一です。

——研修でつくったものを見せてください。

会田：こちらは新入社員が共同で作った歯車を回して動く機械ですが、金属を加工する前の段階で、3Dプリンターを使って製品のモデリングを出してみるために作ったものです。研修では、このような製品について最初は図面を見て、どうやって作るかなどを話し合ったり、上司に相談したりしながら形にしていく感じです。



——この歯車の模型を作るときに難しかったところは何ですか？



会田：これは会社説明会の宣伝用に作ったので、会社では使わないような知識も自分で調べてやらなければならなかったことです。ねじと歯車の組み合わせを考えても、実際にモデリングするとどうしてもずれてしまったりして、直すのも大変でしたね。

——理工学部出身ですが、機械加工などの経験があるのですか？

会田：まったくやっていません(笑)。もともとモノづくりは好きだったのですが、機械とかそちらの知識はまったくなく、大学でもウナギの研究をしていたので、全然違うんです。

——ウナギですか！大学で学んだことが役に立ったことはありますか？

会田：研究は試行錯誤の繰り返しです。何かを失敗したから次はこうしようとか考えて修正することは、今も自分で間違いなどを探すうえで役立っています。

奥山：今年入社の人たちには、自分で何かを試してフィードバックするというプロセスを結構やらせてもらっていますね。そういうところは研究に通じているのかもしれませんが。調べる、検証する、フィードバックするっていうのは大事なことで、それはどの分野にも通じる大事なことです。

(2) 職場編

——サンフウ精密に就職を決めた理由を教えてください。

よくあるモノづくりの企業では、自分の企業と取引先の間でしか製品の出来を確認できないと思います。ですがサンフウ精密では、CAD/CAM を使っているいろいろなものを作っていく中で、「こんなものを作ったよ」という情報の共有のしかたがとても面白いなと思いました。会社説明会に動画を使ったり、今だと YouTube に動画を上げる企画を試してみたり、いろいろな情報発信の方法を使って自分たちの作ったものを広めているので、自分のモチベーションにもつながるし、面白そうだなと思って入社を決めました。



——サンフウ精密を知ったきっかけは何だったのですか？

栃木で大学院に行くつもりだったのですが入試に落ちてしまって、仕事を探そうと思って地元の山形で探しているときに、たまたまこの会社を見かけました。それでホームページを調べる中で、面白そうだと惹かれて入社試験を受けてみたら、受かってしまいました（笑）。決まって本当によかったです（笑）。

——もともと山形に帰ってくるつもりではいたのですか。

いずれ帰ってくるつもりではいました。家庭の事情もあり、家族の手助けをしたいなど思っていて。一人暮らしで近くに住むというのもよかったです。今は実家暮らし最高！という感じです（笑）。

——サンフウ精密に入社してよかったと感じる点がありますか？

コロナ禍の中でもしっかり新人教育をしてくれて、これから先の自分がどうなっていくかのビジョンをすぐ把握できてよかったです。研修でCAD/CAMを使って自分が作ったプログラムが形になるという段取りを教えていただいたおかげで、本当にモノが作れるんだという現実味が増してきて、自信にもなりました。それが今の自分のやる気にもつながっていると思います。

それから、「自分が思ったことをなんでも言っていていいよ」って上司が言ってくれて、なおかつ返答もしっかりくれるので、そこが非常にいいなと思いますね。

——先輩に話を聞きやすい雰囲気なんですか？



そうですね。聞きやすい人も聞きにくい人もいます（笑）。ただそういう取っ付きにくそうな人に聞いたからといって嫌な顔はされません。実際に聞きに言ったら、「俺は忖度する奴は嫌いだ」と返ってきたので、「なるほど」と思ってそれからはきちんと聞きに行くようにしています（笑）。

(3) ある日の過ごし方編

●8:20 【出社】

10分程度の掃除をして、ラジオ体操をします。

1日の始めに準備運動をやっておくと気持ちが切り替わります。

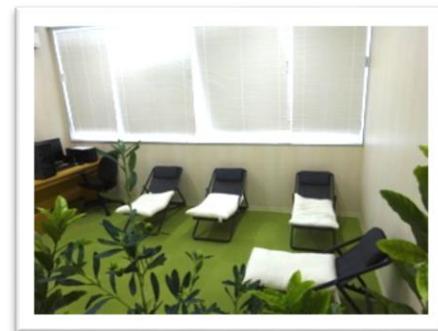
●8:30 【業務開始】

図面を読み取り、作成した手順をもとに製品を作る練習をしています。



●12:00 【お昼休憩】

同僚と一緒にご飯を食べます。残りの時間は休憩室で昼寝をします。



●13:00 【打合せ準備】

午前から引き続き製品を作る練習を行います。

目安として2~3日で1つの製品を仕上げます。



●17:00 【退勤】

残業のない日はプールや温泉に行き、リフレッシュします。

(4) むらやまでの暮らし編

——山形で暮らしていてよかったなと思うことはありますか？

会田：温泉が近くにあるのはいいなと思いますね。今は少し忙しいですが、余力のあるときはジャバのプールに行って泳いだり、温泉に行ってリフレッシュしたりします。温泉に入ると次の日シュッとするのでいいですね。一番気に入っているのは、中山町のひまわり温泉ゆ・ら・らです。

——やはり仕事でお疲れのときもあるのですか？

会田：ありますね(笑)。今はそうでもないですが、入社したばかりのときは朝から晩まで、何がなんだか分からない状態で頭を動かし、体を動かしてやっていたので、どうしても疲れがたまりましたね。

そういうときに「つらいです」と上司に相談しました。すると「じゃあ目標と期限を教えるから、自分で予定決めてみて、予定通り行ったら今日は帰るとか調整してみて。」となりました。それでも大変な仕事には変わりないですが、相談にのってくれたのは気持ちとして良かったですし、自分で予定を立てて進められることになったのでやる気が出ましたね。

——温泉に入る以外でも好きなことや食べ物はありますか？

会田：芋煮とだしが好きですね。おばあちゃんの作る芋煮とだしがめっちゃ好きです。栃木にいたときもレシピを送ってもらっていました。



——実家暮らしですが、今後一人暮らしをする予定はありますか？



会田：う～ん(悩み)。大学で一人暮らしをした後に実家に戻ってくると、実家の良さがわかります。例えば疲れて家に帰ってきたとき、目の前にご飯があるのがいい(笑)。なので、当分は実家暮らしかなと思います。

(4) まとめ編

——今後の目標について教えてください。

会田：今は3日かけて1つの製品を作るというペースですが、そこを自分自身でより効率的にできるようになればと思っています。なかなか難しいですが…。

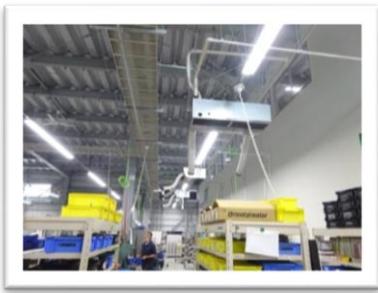
——資格の勉強はされているのですか。

会田：今は初歩的なことを学んでいる最中ですし、さすがに資格の勉強まではまだいけてないですね。NCやマシニング（注：工作機械の種類のこと）をこれから勉強したいと思います。



奥山：例えば機械加工の技術のレベルを認定する技能検定という国の資格がありますが、実技も学科試験もあるので資格取るのは大変ですね。地道に練習してやるしかないので、これから頑張ってもらいたいです。

——現在、就職活動を行っている人にメッセージをお願いします。



会田：就職支援センターのようなところは大学にあると思いますから、絶対に利用したほうがいいです。利用していると、心の持ち方が変わります。例えば面接のときの心構えができるとか。自分の場合は落ち着きがないので、ぼろを出さないように頑張りました(笑)。

——奥山さんに伺います。働きやすくするために工夫していることはありますか？

奥山：働きやすさにもいろいろあると思いますが、当社の場合は、予定や見通しを早めに示すようにしています。製造会社である以上、忙しさに波はあります。その見通し



や、どういう要因で忙しいのか、そうでないのかをあらかじめ知っておくことによって、力の入れるところ、抜くところが分かり、自分で調整しながら仕事をできるようにしております。また、今はコロナ禍で心配する人もいますので、それに関する対応をしっかりしてなるべく心配しなくてもいい環境を整えるようにしています。

環境面でいうと、工場は全棟 LED 照明で、完全空調です。夏の暑いときも冬の寒いときも快適に仕事ができるようにしています。またマッサージチェアなども置いた休憩室なども用意しており、仕事の合間の休憩も快適に過ごせるような環境を作っています。

———**ありがとうございました！**

サンフウ精密では新入社員教育にとっても力を入れていて、奥山さんの「中小企業はみんなが成長しないといけない」という言葉が印象的でした。一人ひとりの能力やビジョンに合わせて個人の研修計画を立て、研修センターも設置していました。会田さんは「大変です」と何度も言っていましたが、一方的に教えられるのではなく自ら調べて動くやり方なので、できるようになったときの喜びも大きくなるのではと感じました。

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 佐藤玲美、草木啓汰、須田瑛大】

サンフウ精密株式会社

★イメージを形に。ものづくりを通して様々な表現をしよう。

21年4月より、技術研修センターを開設。3Dモデリングソフトや、3Dプリンターなど様々な機器を使って、イメージを3Dモデリングに、そして実物として作成する活動をしています。

★2020 地域未来牽引企業

- ・所在地 山形市くぬぎざわ西 1-5
- ・設立 昭和 41 年 5 月
- ・従業員数 53 名（男性 45 名、女性 8 名）
- ・URL <https://sanfu-seimitu.com/>

